

2023年11月15日(水)第三水曜祈祷会

箴言5章1～23節

『「よその女」への警戒』

【箴言の概説】 *「箴言」…ヘブル語の書名は「格言集」、ギリシャ語の書名は「なぞ」「たとえ」。

1. 神を礼拝する民が、神の律法に従って、どのように日常生活を歩むかに焦点を当てている。
2. 著者は、伝統的立場はソロモン。または、ソロモンが彼の先生から学んだことばを集めたもの。
3. 箴言全体で鍵となる言葉は「知恵」である。「主を恐れることは知恵の初め」(1:7、9:10)。

【観察と黙想】

1. 「知恵に留意しなさい」(1～6節) *「よみ」とは、「墓」とも訳され、死者の世界を指す。

①箴言の「知恵」とは、何を指していますか。

→

②「よその女」(遊女)との関係は、終わりにはどうなると教えていますか。

→

③旧約聖書における「姦淫の罪」は、何を意味していましたか。

→

2. 「姦淫がもたらす報い」(7～14節) *主のことばを聞いて離れのように命じている。

①誘惑に対する一番賢明な態度は何ですか。

→

②11節の「あなたの終わりにあなたはうめく」とは、どういうことですか。

→

③結婚の誓いを破ることは、何を意味していますか。

→

3. 「結婚生活の祝福」(15～23節) *神が最初に造られた社会性は「結婚」であった。

①15～16節の「水溜め」「井戸」「泉」は、何を指していますか。

→

②「人の道は主の御目の前にある」とは、どういうことですか。

→

③悪しき者(神を侮る者)の結末は、どうなると教えていますか。

→

【適用と分かち合い】

①箴言の著者は、どうして「知恵を聞け」「耳を傾けよ」と命じるのですか。

②12節の「訓戒を憎み、叱責を侮る」とは、どういうことですか。

③神は結婚についてどのように教えていますか(創世記2:24、25)。